

(社)三重県産業
廃棄物協会

災害廃棄物処理に応援協力

台風被害の1市4町で作業続く

(社)三重県産業廃棄物協会(木村亮一会長)は、台風12号による豪



紀宝町での災害廃棄物の撤去作業

雨被害を受けた1市4町で、災害廃棄物の収集運搬、中間処理など

の応援協力を連日行っている。県知事からの

応援要請を受け、9月

9日から現場の作業を

開始。現在は水没した

家屋の解体作業なども

進めており、応援協力

としては来年2月末ま

で続けていく予定だ。

要請を受けた地域は、

紀宝町、熊野市、大木

町、御浜町、大台町。

これまでに同協会会員

二十数社が参加し、水

没した家財道具や豊かな

ど町内の路上に出され

た廃棄物を収集、分別

した物を仮置き場から
会員企業の間処理施
設へ運ぶなどの作業を
実施した。一番被害が
大きかった紀宝町では
1万ト以上の災害廃棄
物が出ており、協会が
連絡調整しながら作業
を進めてきた。

同協会は2004年、

県と災害廃棄物処理の

応援協力について協定

を結んでおり、それに

基づく出動は今回が初。

「山間部など道幅が狭

い地域も多く、重機や

車両の搬入に苦労しな

がらも、日夜泊まり込

みで懸命に作業に当た

っている。今後は水没

家屋の解体処理とそれ

に伴う廃棄物処理、流

木の運搬などを続けて

いく」としている。